

授業科目 福祉行財政・計画・運営論Ⅱ

【担当教員名】 丸田 秋男		対象学年	3	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【一般目標：G10】 日本の福祉行財政と福祉計画の概要を理解した上で、福祉専門職に求められる福祉計画策定等に係る理論と技法を身につける。 特に、地方自治体における福祉計画の実際を検討し、福祉計画の策定・実施・評価に関する基礎的力量を形成する。					
【行動目標：SB0】 1. 福祉計画策定等に係る理論と技法を理解することができる。 2. 地方自治体における福祉計画の実際を比較検討することができる。 3. 地方自治体における福祉計画の策定・実施・評価に関する基礎的力量を形成することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	福祉計画の意義と目的			1・3	講義
2	地方自治法と福祉計画			1・3	講義
3	社会福祉法制度と福祉計画			1・3	講義
4	福祉計画とPDCAサイクル			1・3	講義
5	福祉計画におけるニーズ把握の意義とその方法			1・3	講義
6	福祉計画における評価の意義			1・3	講義
7	福祉計画における評価の方法			1・3	講義
8	福祉計画における住民参加の意義			1・3	講義
9	福祉計画における住民参加の方法			1・3	講義
10	福祉計画の実例－地域福祉計画－			2・3	講義と演習
11	福祉計画の実例－老人福祉計画・介護保険事業計画－			2・3	講義と演習
12	福祉計画の実例－障害者計画・障害福祉計画－			2・3	講義と演習
13	福祉計画の実例－次世代育成支援行動計画－			2・3	講義と演習
14	地方自治体における福祉計画の検証			2・3	講義と演習
15	まとめ			1・2・3	講義
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新・社会福祉士養成講座第10巻 福祉行財政と福祉計画		社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規 最新版
参考書		必要に応じて紹介する			
その他の資料		必要の都度配布する			
【評価方法】		【履修上の留意点】			
1. 出席 2. レポート又は小テスト 3. 定期試験を総合して評価する。		社会福祉士国家試験指定科目（共通科目）であるので、国家試験対策という観点からも目的意識を明確にして主体的かつ積極的に学んでほしい。			